



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 不二製油グループ本社株式会社
代 表 者 名 取締役社長 清水 洋史
(東証 1 部、コード番号 2607)
問 合 せ 先 広報・IRグループリーダー 隈部 博史
(電話番号 06-6459-0701)

不二製油グループ ローリング中期経営計画「ルネサンス不二 2018」について

当社グループは、2016 年度から 2018 年度までの 3 年間を対象期間とするローリング中期経営計画「ルネサンス不二 2018」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

一昨年度より中長期ビジョンの実現を目指し、毎年成果と課題を検証しながら経営環境の変化に対応するローリング方式による中期経営計画を策定しております。

記

1. 「ルネサンス不二 2018」策定の背景

当社グループは、一昨年策定の中期経営計画「ルネサンス不二 2016」で示した 2030 年の「ありたい姿」、2020 年の「あるべき姿」、つまり市場変動に耐え利益を生み続ける経営体質への進化を図り、技術イノベーションによりグローバルで存在感を示す規模と利益率を確保し、「健康と豊かさ、おいしさに貢献する企業グループ」となる中長期ビジョンについては変更せず継続して取り組んでまいります。

基本方針であるサステナブル経営、グローバル経営、技術経営の推進・加速をすすめること、ならびに、成長する市場、強みを発揮できる市場に展開するという成長戦略に変更はあません。しかし、近年の世界経済の鈍化はマーケットの成長を停滞させ、各事業の伸長スピードにも影響が出てくると予測しております。特に重点エリアとしている中国・ブラジルなどの新興国経済の成長鈍化など、先行き不透明な情勢が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、マーケティングを強化して世界各地の生活者の視点から発想した戦略をとることで、生活者の健康と豊かさ、おいしさを支援するグローバル企業グループとなることを目指した中長期ビジョンの達成に向けた今後 3 年間の活動計画として、ローリング中期経営計画「ルネサンス不二 2018」(2016 年 4 月～2019 年 3 月)を策定しました。

2. 「ルネサンス不二 2018」の基本方針

「ルネサンス不二 2016」で示した基本方針の 3 項目ならびに方向性は変更いたしません。マーケティングを強化して、生活者の視点から発想した戦略をとることを明確にいたします。

(1) サステナブル経営の推進・加速

昨年施行されたコーポレートガバナンス・コードへの対応をはかり、ステークホルダーとのエンゲージメントと対話を一層重視します。ESG 委員会を設置し、食の安全・安心を徹底し、リスクマネジメント体制の構築を図ります。更に原料のサステナブル調達の推進や、人材育成、ダイバーシティへの取り組みを制度面からもサポートし、社会的価値を創出するサステナブル経営を推進します。

(2) グローバル経営の推進・加速

昨年 10 月のグループ本社制への移行を実施しました。グループ本社は、戦略機能の強化、ガバナンス体制の強化、経営人材の育成ならびに新規事業の創出に特化し、事業運営をエリア統括会社へ委譲することにより経営と執行を分離して効率を上げ、事業環境の変化に対応した成長を図れる体制としました。

(3) 技術経営の推進・加速

昨年のアジア R&D センター開設に続き、本年 7 月には不二サイエンスイノベーションセンター (SIC) が完成します。SIC を当社グループの研究、技術開発の中心拠点としてグローバル研究開発体制を構築し、マーケティングを強化することでグローバルに市場のニーズをとらえ、おいしさと健康を基本とした価値の提供を行います。

3. 基本戦略

(1) 成長戦略、エリア戦略

「おいしさと健康」をキーワードに強みを発揮できる市場・製品群を確実に伸ばす成長戦略、ならびに、日本市場を主軸に、重点エリア (中国・アジア・ブラジル) の市場成長を取り込むエリア戦略に変更はありませんが、事業環境の変化にあわせて、昨年示した事業ポートフォリオの構成を一部見直します。重点戦略エリアでは、引き続き現有設備の能力増強に加えて、新拠点設立、M&A・アライアンスの探索・実施を進めてまいります。特にブラジルでは、ハラルド社のブランド力、流通網を活用した新規事業の創出を図ります。

(2) 収益構造改革

原料価格の変動に伴うボラティリティの増大を抑え安定的な成長を図るための戦略が必要となります。油脂事業では、サプライチェーンの強化に加えてチョコレート用油脂の数量確保・シェアの向上策と、付加価値化・適正利潤の確保による安定的な成長を目指します。製菓・製パン素材事業では、チョコレート需要の世界的な鈍化への対応、アジア各国での販売体制強化による製菓 4 品の拡販、ハラルド社の市場シェア拡大とレアル安に伴う原料価格高騰への対応をすすめます。大豆たん白事業では、利益率の改善、ならびに、アライアンス・構造改革の実行による成果の実現を達成します。

また、顧客密着による市場の深掘り、ニーズへの対応、グローバル研究開発体制の構築による新製品、コストダウン対応の強化もあわせて進めます。製品別・市場別利益管理の強化・徹底を図り、営業体制の強化と合わせ、収益改善を図ります。

(3) 経営基盤強化

グループ本社制への移行に伴い、当社グループで共有する使命、目指す姿、行動する上で持つべき価値観、そして行動原則となる「不二製油グループ憲法」を策定し昨年 10 月に発表しました。

本憲法は、グループ社員全員の価値観の共有化を図るとともにグループガバナンスの基本であり、判断・行動の優先基準付けの拠り所となるものです。本憲法をグループ全体に浸透させることでグループとしての一体感を醸成します。一方で、多様な視点から会社運営、事業運営に対する意見を取り入れていけるように女性管理職数を増やすなどダイバーシティを推進してまいります。

4. 財務戦略、資本戦略

財務の安定性を維持しつつ、高い収益性を確保するためにキャッシュフローを重視します。

- ① CCC (キャッシュ・コンバージョン・サイクル) の改善 仕掛品・在庫の圧縮
- ② グループ資金管理の可視化と資金効率の改善
- ③ グループ投資基準 (NPV・IRR) の設定と運営

をすすめます。3 カ年で 500 億円以上の営業キャッシュフローを創出し、キャッシュフローを戦略的に配分する計画です。M&A は投資基準、グループシナジーを勘案の上、決定してまいります。

また、ROE 8%以上を目標としており、利益率の管理の強化、収益構造改革等による利益率の向上に加え、不要資産の売却、生産拠点の統廃合、棚卸資産の適正化、投資案件の厳選による総資産回転率の向上を実現します。また、資本コストを意識した財務レバレッジの適正化を図ります。

株主還元については、配当性向 30% 目途の方針を変えず、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。

5. 経営目標

	2015 年度実績	2018 年度目標
売上高	2,875 億円	3,300 億円以上
営業利益	168 億円	200 億円以上
営業利益率	5.9%	6.0%以上
ROE (株主資本利益率)	6.4%	8.0%以上
海外営業利益比率	28.6%	40%以上

(注) 本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び過程に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因により計画と異なる可能性があります。

以 上